

7 あとがき

江別市での「市民協働」の取り組みは、平成14年1月の市民活動団体調査からスタートしました。14年8月市民協働のまちづくり推進方針が発表され、14年度、15年度と2年にわたり協働のまちづくりモデル事業として先駆事例、典型事例を持つ市民活動団体の活動助成が実施されました。(16年度は「協働のまちづくり支援事業」として実施)。

さらに「まちづくりフォーラム」や「市民協働シンポジウム」が開催され、まちづくりや協働についての市民意識の向上が図られました。

こうした市主導の取り組みの一環として、「協働のあり方懇談会」設置が提起されました。これを受けて発足した「えべつ市民活動・協働ネットワーク懇談会」は、市として把握できた市内の市民活動団体に呼びかけ、市職員は黒子に徹して、集まった市民活動団体の中から手を挙げた人たちによる「世話人会」が毎月開催の「懇談会」の内容調整、提案事項整理などを行うという重要な役割を担って進行されてきました。結果、11回の「懇談会」開催と9月の「中間報告」提出、11月27日の「市民活動見本市」開催を経てこの報告書作成に到ったものです。

一般的に行われている「審議会」や「検討委員会」の手法をとらず、市民活動団体（市民活動を行う市民）を信頼し、江別における市民協働の具体化を「懇談会」に委ねた江別市の見識は高く評価され、全国に誇れるものです。

また、市の期待に応え、自発的意志により参集された市民のみなさんの真摯な検討姿勢と検討内容、その結果は重く受け止め、尊重されるべきものと思います。

この「検討報告書」が、市が策定するより具体的な市民協働施策に反映されるよう望みます。

江別市 市民協働アドバイザー 小林董信

懇談会参加者（五十音順） ※（ ）は所属活動団体、☆は世話人

浅野 昭子（特定非営利活動法人ヘルパーセンター幸）

安藤 栄子（江別観光ボランティア）

伊藤 貴予（江別子ども劇場）

岩田 明美（江別子ども劇場）

宇田川 直子（クマさんのレンガの家）

大栗 一孝（NPO法人えべつ楽友協会）

笠原 美代（江別市家庭問題研究会）

片山 美代（NPO法人えべつ楽友協会）

加藤 高（江別市文化協会）

加藤 勲（K I S プロ）

金井 征子（江別市女性団体協議会）

岸 信子（アート・イン・えべつ）

北村 辰巳（北海道猟友会江別支部）

木下 清（江別観光ボランティア）

清田 規夫

小関 高人（商工振興課(ボランティア担当)

☆小玉 豊治（NPO法人えべつ市民活動サポートセンター）

斉藤 潔（江別の学校図書館を考える会）

佐久間 恭子（わが町の健康と福祉プロジェクトグループ大麻ころばーず）

佐々木 邦俊（アグリ・キングダム江別 プロジェクト）

佐藤 陽子（江別家庭生活カウンセラーグループ）

☆清水 直幸（岡田倉庫活用民間運営協議会）

莊司 和子（江別観光ボランティア）

☆白鳥 健志（まちづくりグループACE）

新藤 慶

新村 明和子（子ども文化ネットワーク・江別）

杉岡 俊彦（NPO 法人ぶらいむほっと）

鈴木 あい（サタデーのっぽ）

須戸 恵美子

堰代 日出子（若葉町文庫）

高木 洋（NPO法人すみよい暮らしのバリアフリー）

☆高木 玲子（えべつ男女共同参画社会をめざす会）

高村 敦子（江別の学校図書館を考える会）

千葉 きみ子（江別観光ボランティア）

長沢 修司（全国障害者問題研究会江別サークル）

奈良 幸則（まちづくりグループACE）

西 久喜（NPO 法人ぷらいむほっと）

西脇 昭夫（江別ホテルの会）

長谷川 亨（江別日中友好の会）

畠山 悠子（ななかまどの会）

☆林 勇治郎（サタデーのっぽ）

日景 敏也（まちづくりグループACE）

東川 富美子（子どもの健康と環境を守る会）

平川 和徳（江別市民国際交流協会江別パソコン研究会）

船戸 實（あじさい会 大麻にパークゴルフコースを手づくりする会）

古川 淳子（野幌地区婦人団体協議会）

☆星 優子（日本リサイクルネットワーク・えべつ）

堀田 佐智子（江別市赤十字奉仕団）

前田 キヨ（江別痴呆の人の家族を支える会）

松山 和子（おはなしなあに）

三島 健吾（サタデーのっぽ）

三谷 幸美（江別観光ボランティア）

☆森 陵一（NPO法人やきもの21）

安岡 るみ子（特定非営利活動法人ヘルパーセンター幸）

山岸 肇（江別市民国際交流協会）